

事業所名

就労準備型放課後等デイサービス
For happiness 川越

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和6年

8月

10日

法人(事業所)理念		mission 障がいのある人が幸せに生活できる社会の実現 vision 福祉業界でのスタンダードを確立する value 制度の枠を超えた関わり合い					
支援方針		・応用行動分析を軸にSST,LST,PC,作業実践といったカリキュラムを展開自立を見据えた社会参加可能な力をつける ・当事者のサードプレイスの機能を担う					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	ライフスキルトレーニング等のカリキュラムやスケジュール化された活動を通して生活リズムを育てていきます。事業所内でのルールを意識して守る力や、適宜指示や役割を与え、責任感ある行動ができるように意図的な場の設定を行いません。					
	運動・感覚	カリキュラム活動の中で、ボディバランスのイメージを膨らませていきます。また、PC活動や作業実践プログラムを中心に、タイピング、ハサミやカッターなどの取り扱いを通して指先感覚の運動を行って行きます。					
	認知・行動	見通しをもたせる情報の提示や可視化されたルールを通して時間の切り替えや好ましい行動を促します。円滑なコミュニケーションの取り方や、物事や事象に対して多面的・多角的に捉えることを目的として、必要に応じてパソコンや支援教材の活用を積極的に行いません。時には職員が適切な行動を助言したり、相手の気持ちを代弁したりしながら、好ましい行動につなげやすくしていきます。					
	言語コミュニケーション	ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)のカリキュラムを中心に適切な距離感や相手の状況を見て言葉かけの工夫や思いの伝え方を考える活動を展開します。身に付けた能力を日常生活でも活用できるようにするために、子ども同士でコミュニケーションを取る機会を設定し、人とやり取りする楽しさや、好ましい気持ちの伝え方を身に付けていきます。					
	人間関係社会性	ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)とライフ・スキル・トレーニング(LST)のカリキュラムを中心に折り合いのつけ方や社会のマナー等を学びます。金銭感覚を養うことや情報の見方・使い方について考えるだけでなく、自分のことや良さについて多角的に捉える自己・他者理解の活動も実施します。良好な関係を築くために集団生活でのルールやマナーの習得をお手伝いし、社会性を身に付け、公共の場に出て学んだことの実践化を図ります。					
家族支援		定期的な面談の場を設け、お子様の将来につながる支援を共に考えます。また、参観週間や保護者会を開催しています。必要に応じて訪問支援も行います。			移行支援	関係機関との担当者会議開催や学校とのケース会議への積極的な参加により情報共有を行います。同法人内の就労継続事業所や市内の事業所と密な連携をとり、実習受け入れや見学を促しています。	
地域支援・地域連携		教育機関や市内の福祉事業所との情報共有や、当事業所主催で定期的な相談会を開催しています。公共施設の利用や講師招聘、地域の方々へ事業所のイベントの周知を実施しています。			職員の質の向上	○感染症対策研修(年2回) ○BCP/防災/火災合同研修(年4回)○虐待防止/ハラスメント/身体拘束研修(年3回) ○交通安全講習会(11月) ○救命講習(2月)	
主な行事等		○保護者参観会……年2回開催 ○日本情報処理検定(年3回) ○避難訓練……年2回実施(3月と9月火事・地震を想定)○他事業所見学(年2回程度) ○模擬イベント……年1回実施(8月カフェの模擬)					